



ICOMOS Japan

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

プレスリリース

解禁日時：2024年2月22日（木）

日本イコモス賞・日本イコモス奨励賞 2023 選考結果

【2023年度の賞の選考】

2023年度は日本イコモス賞2件、日本イコモス奨励賞1件の応募がありました。

選考委員会において、慎重に検討、協議を行った結果、下記のとおり、日本イコモス賞1件を選定いたしました。

日本イコモス賞・日本イコモス奨励賞 選考委員会

西浦 忠輝(委員長)

加藤 友規

北河大次郎

清水 重敦

田尾 誠敏

<委員長以外は50音順>

【日本イコモス賞 2023】

日本イコモス賞

・吉村 龍二

「文化財庭園の保存修理・活用事業のモデル構築」

<推薦者：尼崎 博正 氏>



ICOMOS Japan

プレスリリース

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

解禁日時：2024年2月22日（木）

受賞業績と授賞理由

日本イコモス賞

吉村 龍二

㈱環境事業計画研究所 代表取締役・所長

<1969年 京都生まれ。1990年 京都芸術短期大学卒業。1990年 環境事業計画研究所入社、2001年より所長。文化財庭園保存技術者協議会事務局次長、文化財指定庭園保護協議会運営委員、史迹美術同友会副会長。京都芸術大学非常勤講師、京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター客員研究員、庭園文化塾（NPO 国際造園研究センター主催）講師ほか>

【受賞業績】

「文化財庭園の保存修理・活用事業のモデル構築」

【授賞理由】

吉村龍二氏は、日本各地の特別史跡・特別名勝及び、史跡・名勝、建造物を含む、全国の文化財庭園の保存修復・整備・活用事業での調査・計画・設計・監理、および保存活用計画策定等の実務者（環境事業計画研究所所長）として、文化庁をはじめ各地方行政、地域の民間団体、所有者、施工者などと協調し、数多い事業に関わり、豊富な経験と実績を重ねてきた。

例をあげれば、特別史跡・特別名勝毛越寺庭園（岩手県平泉町）、特別史跡・特別名勝醍醐寺三宝院庭園（京都府京都市）、特別史跡・特別名勝鹿苑寺庭園（京都府京都市）、特別史跡・特別名勝平城京左京三条二坊宮跡庭園（奈良県奈良市）、特別史跡・特別名勝一乗谷朝倉氏庭園（福井県福井市）、名勝三溪園（神奈川県横浜市）、名勝名古屋城二之丸庭園（愛知県名古屋市）、名勝諸戸氏庭園（三重県桑名市）、名勝旧秀隣寺庭園（滋賀県高島市）、名勝智積院庭園（京都府京都市）、名勝依水園（奈良県奈良市）、名勝琴ノ



浦温山荘庭園（和歌山県海南市）、名勝旧広瀬氏庭園（愛媛県新居浜市）、名勝仙巖園附花倉御仮屋庭園（鹿児島県鹿児島市）をはじめ、皇室関連施設の桂離宮庭園（京都府京都市）などで、時代や地域、歴史、用途など様々な背景をもつ庭園に関わってきた。

従来の文化財庭園の分野では、修理報告書が刊行されていない場合もあり、されていたとしても結果のみ記載されることが多かった。しかし、吉村氏が携わってきた事業では、文献調査や発掘調査等に基づく委員会での検討経過はもちろん、修理方針の決定および修理経過と結果に至るまでを丹念に記載した整備報告書としてまとめられており、保存活用計画とともに、将来の保存活用の際に指針となる不可欠な情報を提示するという大きな役割を果たした。ことに、『特別史跡及び特別名勝 醍醐寺三宝院庭園保存修理事業報告書 I 〈園池編〉』は、文化財庭園の保存修理における事業実施の的確なモデルを構築したという意味において特筆すべき功績であり、以後、吉村氏が関わる事業に反映されるのみならず、全国の文化財庭園の保存整備・活用事業のモデルとなった。

文化財の修理事業については、可能な限り、過去において行われた修理内容等を把握し、検証することで、現時点で取りうることができる最善の方法を採択するのが望ましいが、文化財庭園においては、それが十分には進んでこなかった。そのため、平成の醍醐寺三宝院庭園保存修理事業においても、事業に携わる関係者が、それぞれに過去の事業を担当した事業所に協力を仰ぎ、残された工事写真やそれに付随した図面を収集するなどを行った。しかし、期限ある事業内では収集できる資料には限りがあり、新たに修理方針を立てる際の検証や検討材料とするためには、充分とは言えない状況であった。こうした修理事業の実情を踏まえ、吉村氏は平成の醍醐寺三宝院庭園保存修理事業においては、修理の根拠とした文献調査や発掘調査の記録をはじめ、委員会で合意された修理方針や実際の修理工事の記録、修理方針を変更した場合にはその内容を記載するなど、修理事業に関わる内容を網羅的に集約し、報告書とすることを試みた。先掲の醍醐寺三宝院庭園の報告書に記録された事業内容は、前回の修理内容を評価した上で、更に発展的な修理手法を実施するための検証素材ともなり、将来の修理においても、事業を健全に積み重ね発展していくモデル構築へと繋がった。

また、選定保存技術保存団体である文化財庭園保存技術者協議会の事務局次長として、平成14年の協議会設立当初から現在に至るまで、文化財庭園の保存技術の継承と人材育成、および普及啓発活動に尽力していることも高く評価される。

以上、吉村龍二氏の四半世紀を超える活動により、構築されてきた文化財庭園の保存修理・活用事業のモデルは、日本の文化財の将来への継承において、貢献と成果が極めて顕著であり、高く評価される。

日本イコモス国内委員会は、文化財庭園の継承に尽力されてきたすべての人々の努力を讃えるとともに、その中心となって「文化財庭園の保存修理・活用事業のモデル構築」に携わり、長年積極的な活動を続けられてきた吉村龍二氏に「日本イコモス賞 2023」を授与するものである。



ICOMOS Japan

プレスリリース

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

解禁日時：2024年2月22日（木）

《本件に関するお問合せ先》

日本イコモス賞・日本イコモス奨励賞選考委員会 委員長 西浦忠輝

日本イコモス国内委員会事務局 担当：協園大史

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5 岩波書店一ツ橋ビル 13F 文化財保存計画協会気付

E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

日本イコモス賞 2023

吉村 龍二

【授賞業績】

文化財庭園の保存修理・活用事業のモデル構築



特別史跡・特別名勝
毛越寺庭園



特別史跡・特別名勝
醍醐寺三宝院庭園



特別史跡・特別名勝
鹿苑寺（金閣寺）庭園